

文章を書いてみよう

～「あなた周辺」はネタになる！好きな事・身の回りのことを文章にしてみよう～

情報伝達メディア作成発信講座

「趣味や、長年かけて調べてきたことを誰かに伝えたい」「生活で得た知識を子や孫に伝えたい」「興味のある人や事取材して文章にしてみたい」……そんなふうに思ったことはありませんか？が、しかし、一向に筆が進まない……という人、きっと少なくないですね。

「講座」と銘打たれていますが、この4回のシリーズでは「体系的な知識」は得られません。文章の書き方もお教えできません。この4回シリーズは主に「書き出す勇気を醸成する」「一人じゃ無理だからみんなで」というところがポイントです。

「さて、なにを書こう」…… 過去の経験？ 身の回りを見直す？

第1回

12/15 (木) 14:00 ~ 16:00

「こんなのを書きたい」を探す旅がこの日から始まります。一人で考えるのではなく、ちょっとだけ頭に浮かんだことをみんなと共有。いつのまにか、自分の中に有った縛りから、アイデアを開放できるかもしれません。そして、第2回に向けて、お手本となる資料を見つける作業に着手します。

「お手本のすごいところ」をプレゼンしあう

第2回

1/20 (金) 14:00 ~ 16:00

「アイデアが浮かんだ」としても、すぐに文章が書き出せる……ことができるのなら苦労はありませんね。そこで、選んだお手本をそれぞれじっくり読んでみて、お手本の良いところをこの日はそれぞれ発表してみましょう。この作業の過程で、どんなふうに「書くか」のアイデアが出てくるかもしれません。

全体像を考えてみよう……

イケそうなゴールを見据え、スタートを切ろう

第3回

1/27 (金) 14:00 ~ 16:00

「何を書くのか」をそろそろ具体化して、公表してみましょう。「大丈夫かな？」きっと大丈夫。短距離走を走るのか、マラソン並みに走るのか、あなたができそうなこと、したいことを設定して、みんなの前で発表することをまずやってみましょう。

書いたものを（途中でOK）をぼちぼち発表

第4回

2/7 (火) 14:00 ~ 16:00

講座最終回となるこの日の目標は第1稿の発表です。途中までも構いません。部分でも構いません。とりあえず、何かを書いて、お披露目しましょう。この日の成果は、手製本の冊子へと繋がります。発展途上の「きっかけの一冊」を講座の最後につくりましょう。そして、ここから、本当にあなたが書きたいことをまとめる作業が始まります。

場 所：三浦市民交流センター ニナイテ 研修室

参加費：無料 / 定 員：10名

対 象：原則三浦市内在住、または市内で活動されている65歳以上の方。

65歳未満の方はサポーターとして受講が可能です。

なお65歳未満の方の受付は講座の2週間前（2022/12/1）からとなります。

持ち物：筆記用具

申込み：電話、来館、またはFAX・Emailでの申込書の提出で、先着順にて受け付けます。

三浦市民交流センターニナイテ

〒238-0111 三浦市初声町下宮田5-16ベイシア三浦店2階

TEL：046-845-9919 FAX：046-845-9229 Email：info@miuracc.org



講師紹介

長谷川直子 氏：

東京生まれ。現在、フリーランスの編集者。元「美術出版社」で編集者。

多摩美術大学建築科を中退後、競技スキー専門誌の編集を経て、株式会社美術出版社で総合デザイン誌『デザインの現場』の副編集長を担当。退社後、ロンドンのThe London Institute, London College of Printing（現London College of Communication）で、クリエイティブアーツに特化したマーケティング修士課程を修了。

2006年7月、デザインとマーケティングをミックスした見地からのサービス開発・メディア開発を目指した ita & co 株式会社を設立。Webや紙媒体の制作を行なう。

市民記者になろう 聴いて、書いて、伝える技術 参加申込書 申込日 年 月 日

氏名		年齢	
住所			
電話		Email	

ご記入いただいた個人情報は、申込みをされた講座の運営および必要な連絡の他には使用いたしません。

※FAX・メールでお申込みの方は受付後に必ず折り返しご連絡いたします。